

● 協賛企業

CACTUS.

Dream III

Clarivate Analytics

WILEY



enago
英文校正・校閲エナゴ
Author First, Quality First

SPRINGER NATURE

researchmap

● RA 協議会総会

9月19日(水) 17:30~18:00 /メインホール

● 情報交換会のご案内

9月19日(水) 18:30~
大会会場周辺で開催の予定。詳細は9月以降 HP でご案内します。

● 年次大会参加登録

参加登録ウェブページ
<http://www.rman.jp/meetings2018/regist.html>
上記より参加登録をお願いいたします。詳細はウェブページをご覧ください。
参加登録期限は、**8月31日(金) 17:00**です。



● 会場案内

■ 大会会場：

神戸国際会議場
〒650-0046 神戸市中央区港島中町 6-9-1
<https://kobe-cc.jp/ja/facilities/conference-center/>



※大会会場には駐車場がございません。車でお越しの方は県営(有料)駐車場等をご利用ください。
※大会会場は全館禁煙になります。



● お問い合わせ

RA協議会 第4回年次大会 実行委員会事務局

神戸大学 学術・産業イノベーション創造本部 学術研究推進部門

■ E-mail : 4thran_j@org.kobe-u.ac.jp

■ HP : <http://www.rman.jp/meetings2018/>



RA協議会
The Research Manager and Administrator Network Japan

RA 協議会 第4回年次大会

2018.9.19 受付開始 9:00 [水] — 9.20 終了時間 16:00 [木]

開催場所：神戸国際会議場

対象：URA、大学および研究機関の教職員、省庁関係者、助成機関関係者、その他 URA 業務に関心のある方等

参加費：会員 5,000 円、非会員 20,000 円、学生 3,000 円 (情報交換会は別途 5,000 円)

主催：リサーチ・アドミニストレーター協議会

協力：(一財)神戸観光局・神戸コンベンションビューロー (公財)中内力コンベンション振興財団



RMAN-J
The Research Manager and Administrator Network Japan

大会テーマ **共創するURA**
～学術の発展と価値の創出～

A URA組織・人材・役割	E 専門業務	I その他	R 専門員会セッション
B 研究経営・戦略・IR	F 産官学金連携	K 教育プログラム	O 口頭発表
C プレアワード	G 国際	N 参加者ネットワークセッション	Y 非営利団体セッション
D ポストアワード	H 人材育成	S 執行部主導セッション	Z 企業ランチョンセミナー

第1日目 **9月19日 [水]**

会議室名	メインホール	国際会議室	401	402	403	404	405	406	レセプションホール	
9:00-10:00	受付									
10:00-10:20	開会式									
10:20-10:30	休憩									
10:30-12:00	S-1 関係省庁セッション ALL	G-1 クロスカルチャー奮闘記一筋じゃない外国人研究者支援 ALL	Y-1 民間助成金の獲得に向けて一助成金応募に際しての留意点など ALL			K-1 スキルをつなげよう～個人スキルのマネジメントストラテジー Beginner	N-1 人材の定着と流動性についての考察		ポスター／企業ブース展示	
12:00-12:10	休憩									
12:10-13:10			Z-1 (ランチョン) エルゼビア・ジャパン ALL	Z-2 (ランチョン) JST/ジー・サーチ ALL	Z-3 (ランチョン) ワイリー・ジャパン ALL					
13:10-13:20	休憩									
13:20-14:50	S-2 執行部セッション ALL	O-1 口頭発表 ALL		O-2 口頭発表 ALL	O-3 口頭発表 ALL	O-4 口頭発表 ALL	Y-2 ワークショップで考えよう：欧州研究協力・交流助成企画で国際化達成 ALL	Y-3 戦略的な基礎研究推進に向けた大学とFAの連携協力のあり方について ALL		
14:50-15:50	休憩									
15:50-17:20	R-1 資格認証WGセッション ALL	R-2 EARMA (欧州のURA組織)との連携 ALL	B-1 個に焦点を当てた研究力分析と研究の発展性 Middle/Advance	F-1 大学と自治体の連携強化を目指す ALL	C-1 地域に集積する知から生まれる金の卵 ALL	E-1 URAが担う大学・組織・研究のブランディング ALL	A-1 A life as a URA Beginner/Middle	N-2 国際業務の機関を越えた協力について～課題を共有しませんか？～ ALL		
17:20-17:30	休憩									
17:30-18:00	総会									
18:30-20:30	情報交換会									

第2日目 **9月20日 [木]**

会議室名	メインホール	国際会議室	401	402	403	404	405	406	レセプションホール	
9:00-10:30	R-3 NCURA (米国のURA組織)との連携 ALL		E-2 SDGsのその先へ～社会とアカデミアの応答を生み出すための5つの質問～ ALL	F-2 産学官連携リスクマネジメントモデルについて Middle/Advance	C-2 異分野融合・学際研究を生み出す仕組みとURAの役割 ALL	E-5 研究基盤を活用した研究戦略立案 ALL	K-2 プレアワード業務の俯瞰と実践 Beginner	N-3 URAのブランディングを見据えた戦略的活動アーカイブ ALL	ポスター／企業ブース展示	
10:30-10:40	休憩									
10:40-12:10	R-4 SRA (北米等のURA組織)との連携 ALL	A-3 URA導入の期待と不安 ALL	F-3 大学経営力向上と地方創生 Middle	C-3 マーケティング志向のURA業務とは ALL	E-3 大学等の国際化と安全保障輸出管理 ALL	B-2 研究IRに基いた研究戦略 ALL	N-4 授業支援「授業開発・実施」「インターンシップ支援」等 ALL			
12:10-12:20	休憩									
12:20-13:20			Z-4 (ランチョン) AJE: American Journal Experts ALL	Z-5 (ランチョン) カクタス・コミュニケーションズ ALL			個人会員ミーティング ALL			
13:20-13:50	休憩									
13:50-15:20	F-4 超スマート社会実現のオープンイノベーション具体化事例 Middle/Advance	R-5 海外URA組織代表とのパネルディスカッション ALL	I-1 私たちがオープンサイエンスを進めるためにすべきこと ALL	D-1 プレアワード時から考えるポストアワード ALL	H-1 若手研究者の人材育成とキャリアパス形成を目的とした産学連携プログラム ALL	A-4 URA組織における人材育成 Middle/Advance	E-4 マスコミから見たURA ALL	N-5 プログラミングによるデータ分析の生産性向上～Code for Research Administration ALL		
15:20-15:30	休憩									
15:30-16:00	閉会式									

月日	時間	セッション名	内容
9/19	10:30～	S-1	関係省庁セッション／基調講演 上山隆大氏 (総合科学技術・イノベーション会議 有識者議員)、パネルディスカッション
	13:20～	S-2	大学執行部セッション／日本の大学の研究力の復活とURAの役割
	15:50～	R-1	伊藤 伸 (東京農工大学) 資格認証WGセッション
9/20	9:00～	R-2	富田克彦 (神戸大学) EARMA Session/SDGsとグローバルな課題解決に向けた日欧URA国際協力のシナリオ
	10:40～	R-3	杉原 忠 (沖縄科学技術大学院大学) NCURA Session/Supporting Research...together: NCURAとRA協議会で創る研究支援
	13:50～	R-4	三代川典史 (広島大学) SRA Session/INORMS 2020大会: SRAとのパートナーシップ
		R-5	三代川典史 (広島大学) Discussion Session/海外URA組織代表とのパネルディスカッション

月日	時間	組織名	タイトル
9/19	12:10～13:10	Z-1	エルゼビア・ジャパン株式会社 研究力分析から異分野融合研究の創出へ～ナノブローブ生命科学研究所の創成、およびSciValによる科研費分野分析の事例～
		Z-2	国立研究開発法人科学技術振興機構/株式会社ジー・サーチ 日本最大級の研究者総覧researchmapの概要と今後の計画/産学連携加速に向けたJDreamIIIデータ活用
		Z-3	ワイリー・ジャパン株式会社 Wiley Researcher Academy-論文出版スキルを身に付けた若手研究者・学生を育てたい大学のためのEラーニングプログラム
9/20	12:20～13:20	Z-4	American Journal Experts (AJE) 国際舞台における学術出版～現在のトレンドと著者サービスが成功を促すための方法
		Z-5	カクタス・コミュニケーションズ株式会社 What do the rising stars among Asian universities do best when it comes to internationalization and research promotion? ～世界大学ランキングを急速に伸ばすアジアの大学に学ぶ国際化・研究広報の最新動向～

月日	時間	オーガナイザー	タイトル
9/19	10:30～12:00	G-1	藤松佳晃 (沖縄科学技術大学院大学) クロスカルチャー奮闘記一筋じゃない外国人研究者支援
		Y-1	渡辺 元 (公財) 助成財団センター) 民間助成金の獲得に向けて一助成金応募に際しての留意点など
		K-1	スキルプログラム専門委員会/村上壽枝 (東京大学) スキルをつなげよう～個人スキルのマネジメントストラテジー
		N-1	田中有理 (首都大学東京) 人材の定着と流動性についての考察
	13:20～14:50	O-1～4	口頭発表 (4会場予定)
		Y-2	Matthieu PY (EURAXESS Japan) ワークショップで考えよう：欧州研究協力・交流助成企画で国際化達成
		Y-3	中神雄一 (JST) 事前申込制(定員有) 戦略的な基礎研究推進に向けた大学とFAの連携協力のあり方について
	15:50～17:20	B-1	野水昭彦 (情報・システム研究機構) 個に焦点を当てた研究力分析と研究の発展性
		F-1	矢吹命大 (横浜国立大学)
		C-1	諏訪桃子 (首都大学東京) 大学と自治体の連携強化を目指して
E-1		馬場 忠 (筑波大学) 地域に集積する知から生まれる金の卵	
E-1		館 正一 (関西大学) URAが担う大学・組織・研究のブランディング	
A-1		白井哲哉 (京都大学)	
9/20	9:00～10:30	A-1	杉原 忠 (沖縄科学技術大学院大学) A life as a URA
		N-2	池田 泉 (東京大学) 国際業務の機関を越えた協力について～課題を共有しませんか？～
		N-2	Harris Kate (東京大学) 馬場良子 (東京大学)
		E-2	高橋そよ (琉球大学) SDGsのその先へ～社会とアカデミアの応答を生み出すための5つの質問～
	10:40～12:10	F-2	山口光男 (福井大学) 産学官連携リスクマネジメントモデルについて
		C-2	関口通江 (電気通信大学) 異分野融合・学際研究を生み出す仕組みとURAの役割
		E-5	佐々木隆太 (北海道大学) 研究基盤を活用した研究戦略立案
		K-2	スキルプログラム専門委員会/王 鴻香 (長崎大学) プレアワード業務の俯瞰と実践
		N-3	大西将徳 (京都大学) URAのブランディングを見据えた戦略的活動アーカイブ
		N-3	岡崎麻紀子 (京都大学) 田上 款 (京都大学)
12:20～13:20	A-3	丸山浩平 (早稲田大学) URA導入の期待と不安	
	F-3	角田哲啓 (信州大学) 大学経営力向上と地方創生	
	C-3	平井克之 (新潟大学) マーケティング志向のURA業務とは	
	E-3	陸山有生 (輸出管理DAY for ACADEMIA実行委員会) 大学等の国際化と安全保障輸出管理	
13:50～15:20	B-2	十津川剛 (首都大学東京) 研究IRに基いた研究戦略	
	N-4	安部恵祐 (大分大学) 授業支援「授業開発・実施」「インターンシップ支援」等	
	個人会員有志		個人会員ミーティング
	F-4	富田克彦 (神戸大学) 超スマート社会実現に向けた産官学市民連携によるオープンイノベーション具体化事例	
	I-1	岡本裕子 (国立情報学研究所) 私たちがオープンサイエンスを進めるためにすべきこと	
	D-1	石川桃絵 (金沢大学) プレアワード時から考えるポストアワード	
	H-1	小川 正 (京都大学) 若手研究者の人材育成とキャリアパス形成を目的とした産学連携プログラム	
	A-4	高野 誠 (大阪大学) 佐藤祐一郎 (大阪大学) URA組織における人材育成	
E-4	原田 隆 (東京工業大学) マスコミから見たURA		
N-5	平井克之 (新潟大学) プログラミングによるデータ分析の生産性向上～Code for Research Administration		

企業ブース、口頭発表、ポスター発表の内容につきましては、8月上旬に大会ホームページに公開を予定しています。